

新型コロナウイルス感染症に伴う
事業者の影響調査 報告書

令和2年3月10日

前橋商工会議所

調査目的 市内中小事業者のコロナウイルスに関する影響を把握し、今後の経営支援につなげる。

調査期間 令和2年2月19日(水)～3月6日(金)

調査対象 前橋中心商店街を中心に会員事業所他

調査件数 142件

調査方法 会議所全職員により訪問または来客者へ聞き取り調査を実施

1. 調査内容

(1) 全体的な状況

今回の調査は全職員により合計142事業所に聞き取りを実施した。

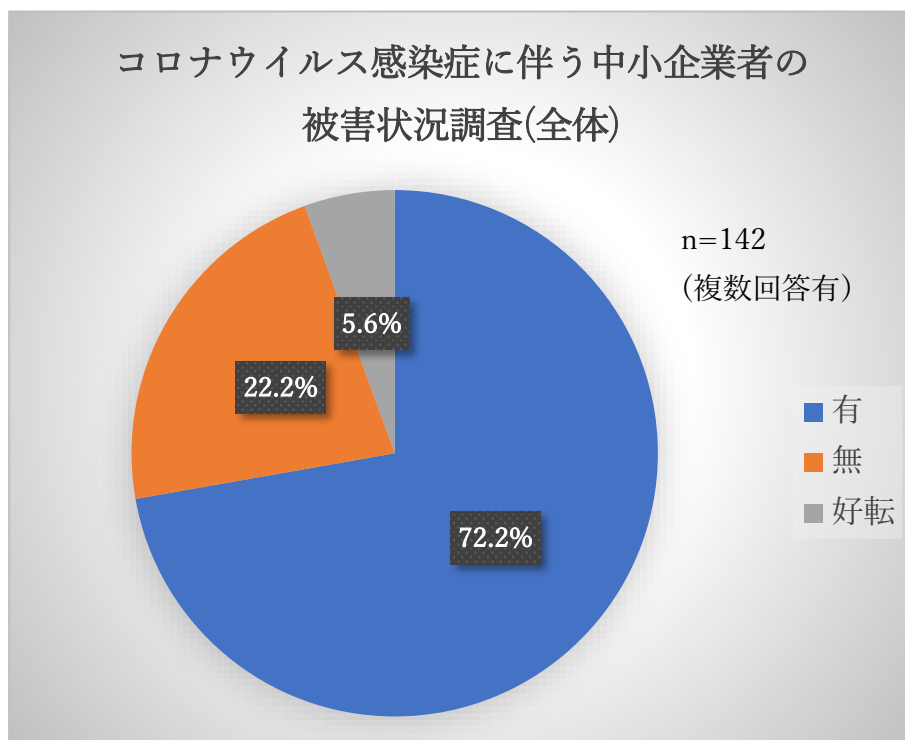
聞き取りにあたっては、(悪い)影響あり、影響なし、好転の3種類の回答として取りまとめた。(表1・図1)

表1 調査事業所 業種別・回答表

業種	調査件数	回答		
		影響あり	影響なし	好転
飲食業	22	21	1	0
卸売業	2	2	0	0
建設業	9	6	3	0
小売業	64	43	19	4
娯楽業	2	1	1	0
宿泊業	3	2	1	0
製造業	17	13	2	3
サービス業	20	14	5	1
旅客運輸業	2	2	0	0
合計	142	104	32	8

※小売業2件から複数回答があり回答数は144件

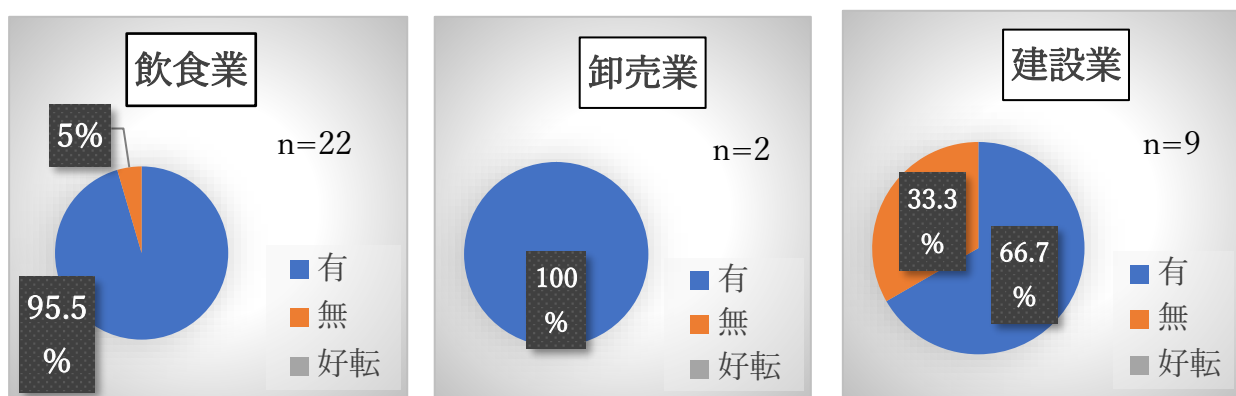
図1 調査全体回答割合

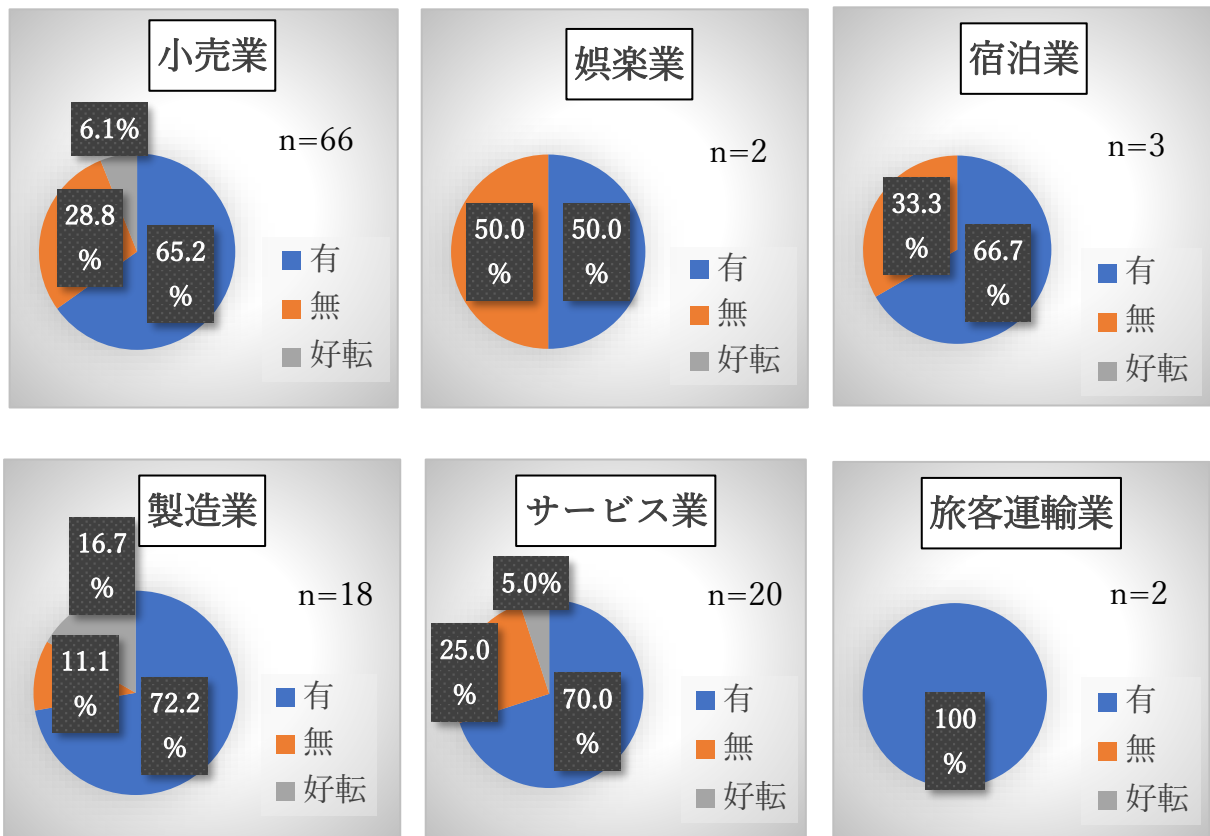


全体としては、7割以上の事業所より「(悪い)影響がある」との回答があり、影響の大きさが伺える。そうした中でも「好転」と回答している事業所も僅かだけ見受けられる。

(2)業種別の状況

図2 業種別回答割合





業種別では、回答数の違いはあるが 飲食業、卸売業、旅客運輸業が特に悪影響が顕著である。好転したと回答した中では製造業の食品製造が需要増で好転しているという回答が多く見受けられる。

(3)調査の総括

影響がある事業所からのコメントを要因別に整理すると以下の項目に分類される。

①イベント(含む卒業式等)の中止による影響

興行主だけでなく、付随する飲食、生花、衣装、美容室、ガソリンスタンド等に影響が広がっている。

②調達に支障が出ている

中国からの資材の調達の停滞(建材、部品、食材等)

③先行き不安

いつまで続くのか次第で資金面の不安がある。また、感染者が出た場合の風評被害への不安の声も上がっている。

④客足減少

飲食、宿泊で特に深刻な状態

⑤資金面の不安、⑥従業員確保が困難、⑦食材ロス(品余り)、⑧備品が品薄、
⑨情報が無くて不安

こうした悪影響が出ている一方で、「影響がない」または「好転」していると回答された事業所のコメントを見てみると、①店舗売りだけでなく配達をしている、②通信販売が主流、③備品需要の増加、④取扱商品がメディアで感染予防に効くと紹介されたという項目に集約できた。①②についてはもともとその事業所が「ビジネスモデル」として実践していたことが功を奏した事例であり、強い経営のヒントになるものと思われる。また、③④は厳しい経営環境の中でも業種によっては特需が発生していることを如実に表している事例である。

一方で、「影響がない」「好転」と回答した事業所についても、今後の感染拡大状況によっては影響が出ないとは言い切れず、消息が見えない以上全体としては当面は経済活動の縮小、不安感は続くと思われる。